

令和8年度

椿小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 児童の実態に応じた複式授業の実践
- 実感を伴った理解により実生活へと生かされる授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

校長

清水 浩三

学力向上推進員

津田 友紀奈

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告、研修等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○学習や様々な活動に、前向きに意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○昨年度末の児童のアンケートから、授業で学んだことを生活の中で活用しようとしているという内容に8割以上の児童が肯定的な回答をしている。</p> <p>●漢字の読み・書き・計算等において、長期にわたっての定着度が不足している児童もいる。</p> <p>●長文の読み取りや工夫して計算する問題に対する理解に時間がかかる。</p>	<p>・漢字の読み書きや四則計算などの、基礎的・基本的な知識・技能を習得している。</p> <p>・習得した知識や技能を、他の学習や生活の場面でも応用して活用することができる。</p>	<p>・文字を丁寧に書いたり、習った漢字を使って書いたりといった、基礎的なことを繰り返し指導することで定着させる。</p> <p>・スキルアップタイムや授業の終わりの10分間等を使って、漢字・計算等のドリル学習や、タブレット教材を活用して反復学習を継続的に行う。</p> <p>・漢字検定や数学検定に取り組むことで、児童に目標をもって学習に臨む態度を身につけさせるとともに、基礎学力の向上を図る。</p> <p>・タブレットを用いた検索の正しい使い方を指導する。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○既習の事実や、方法・手順がわかっている活動においては、自分の考えを意欲的に伝えたり、見通しをもって積極的に行動したりできる児童が多い。</p> <p>●思いつきな発言が多く、しっかり考えて自分の考えをもったり、新しい事実や友だちの意見、教師の発問等をもとに自分の考えを再構築する姿勢が身につけていない児童が多い。</p>	<p>・各授業や活動における課題等に対して、話し合い活動等を通して、解決する方法を考えることができる。</p> <p>・授業や行事等で積極的に自分の考えを話したり書いたりし、友だちの意見も聞きながらまとめ、他者に伝えることができる。</p>	<p>・学習形態を工夫し、児童相互の学び合いの機会を持てるような授業展開に努める。</p> <p>・自力解決の時間を十分に確保し、自分の考えをもつことができるようにする。</p> <p>・協働の時間には、考えを広げ深めていくことができるように補助発問を工夫するとともに、教師も学習者として考えを述べるようにする。</p> <p>・児童の考えを認め、まちがっても良いと思える雰囲気づくりに努めることで、安心して学習することができる場をつくる。</p> <p>・ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動を積極的にさせる。</p> <p>・新聞などの資料やタブレットでの検索を通して得た情報を正しく読み取り、比較しながら、自分の考えをまとめる力を育てる活動を授業に取り入れる。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○落ち着いた学習に取り組むことができ、出された課題や家庭学習などに、真面目に取り組むことができている。</p> <p>●主体的な取り組みに対して個人差があり、自分の苦手や課題を考えて自主的・計画的に学習を進められる児童は少ない。</p>	<p>・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>・自分の苦手や興味に応じて自ら課題を設定し、各教科の学習や自主学習等で、学習の仕方を考えながら積極的に取り組むことができる。</p>	<p>・振り返りの時間を確保し、自分の学びを整理することができるようにする。その際、児童が自分の学びや課題に気づくことができるように、振り返りの視点を児童に示し、記述・発言させる。(学びの過程、獲得した知識・技能、次時への展望等の手引きを示す。)</p> <p>・毎月第1～3金曜を「自主学習の日」とし、自分に合った内容の学習に取り組むことができるようにする。</p>			